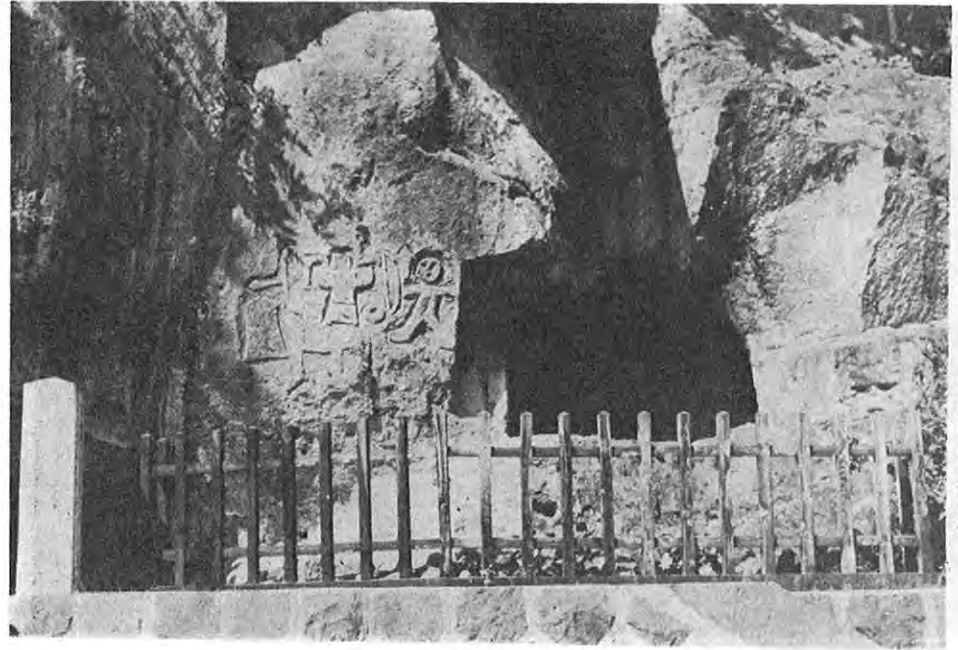


県下には重要な古墳が多数あり保存がいそがれる
(山鹿市鍋田古墳)



(山鹿市鍋田古墳)

最近各地の開発が急激に行なわれ、乱開発とも思われる場合も多く見られます。このような現況の中で、歴史的に貴重な文化財をかかえる本県は先達の遺品を大切に守っていかなければなりません。文化財の保護、調査を緊急に必要とする場合に対処するため、調査等に要する機器の導入を図るとともに、各地の県指定文化財、装飾古墳等の保存修理を早急に行なうこととします。

また、文化、芸術振興のため設立される文化振興基金に二千万円出資することとします。

建設準備を進めております県立美術館も四十八年度から建設に着手するはこびとなりました。

★文化振興基金設置助成…二千万円

本県の芸術文化の振興と普及を目的として、芸術活動に資金援助しようという全国でも珍しい財団法人形式の芸術文化振興会の設立が予定されています。当会は当初三千万円の基金で発足し、基金の運用により①展覧会、演奏会その他芸術芸能の公演に伴う資金の援助②図書出版や制作に伴う資金の援助③海外研修や国内研修費の援助④その他芸術芸能の育成、発展に必要な事業に援助を行ないます。

★文化財、装飾古墳調査、保存対策

…四千三十五万円

最近の開発事業の増加、公害の発生や過疎現象等の影響により文化財の保護については、不利な要素が増加していま

す。県民への文化財愛護思想の普及活動を推進するとともに、埋蔵文化財や顕著な文化財については、全県下にわたり組織的調査をし、市町村と協力しながら文化財の指定を推進して行きます。

装飾古墳については、現在全国二百十三基のうち本県は百一基を占める装飾古墳の宝庫であります。昭和四十七年に完了した基礎調査をもとに、昭和四十八年度から年次計画により本調査を行なう一方、保存修理ならびに環境整備につとめます。

これ等の調査を能率的に進めるためステレオカメラ、図化機、ハンドドローザ等の機械を導入します。

また細川家廟のような建物や仏像で白蟻や腐蝕等の甚しいものには、管理者に修理に必要な補助をし、肥後琵琶のような無形文化財や民俗資料等は、映画やテープレコーダによる記録保存に努めます

★美術館建設…二億七千五百万円
美術館の建設は、七月に着工の予定です。

熊本城内二の丸公園の西隅に建てられるこの美術館は、延約六千五百平方メートル、工事費七億五千三百万円の建物です。初年度に当たる本年は、二億七千五百万円の工事費を計上しました。

この美術館は展示室と収蔵庫などで構成されますが、展示室は装飾古墳室、本県の伝統美術を常時展示する常設展示室、展覧会場などのパートに分れております

も目指します。

計画では、八代市に広さ三万三千平方メートル程度の大型ハウスをつくるもので、オートメーションによる灌水・施肥・暖房などの付帯施設を完備し、トマトとメロンを組合わせたモデル団地になる予定です。

★肉用牛生産団地育成事業…

一億七千九百二十五万円

肉用牛の生産から肥育・出荷までの一貫体制を確立するため、昨年から波野村に飼料畑・共同利用家畜管理施設・肥育センターなどの整備を進めているものです。肥育規模は三百頭。

★市乳供給モデル団地育成事業…

六百七万円

酪農経営の高能率生産団地を育成展示し、市乳の供給体制を強化するため、四十七年度から旭志村に建設しているもので、飼料生産圃場・共同利用家畜管理利用施設などの整備を進めます。

★高能率米麦作団地育成対策事業…

千二百九十六万円

トラクター・自脱型コンバイン・乾燥調整施設の共同導入によって、米麦作の機械化一貫作業体系を確立し、省力による野菜・畜産などの複合経営を伸ばそうというもので、本年度は四カ所。

★広域営農団地総合管理技術開発事業

…九百七十万円

農業における電子計算機の高度利用システム(ソフトウェア)の開発をしよう



大規模な畜産基地づくりが進む阿蘇高原

県の経済は、二次産業、三次産業の伸びによって次第にその構造を変えようとしています。しかし、依然として農業は県の主産業の一つであり、国家的にも食糧供給基地として重要な役割を果しています。

いままでもなく、農業をとりまく情勢はいろいろときびしいわけですが、それでも他産業に劣らないだけの所得をあげ、農家経済が安定し、産地間競争や貿易自由化に負けないようにするためには、高生産性農業の確立を急がねばなりません。

このため、昨年九月に策定した県農業計画の四地域、二十一地帯のそれぞれの方向に即して、第二次農業構造改善事業をはじめとする一連の構造、生産、流通加工対策を推進し、近代的な機械や施設の導入、生産の組織化、農業生産基盤の整備などを行なうこととされています。

具体的にことしの予算の中から主なものを拾ってみますと次のとおりです。

★第二次農業構造改善事業…

十三億三千二百三十九万円

昭和四十五年度から事業実施に入っており、本年度は三十二地区で事業を実施します。

★施設園芸集中管理モデル団地設置事業…

九千四十三万円

施設園芸の自動化、装置化による生産性の向上と規模拡大を図るため集中管理方式を導入し、合わせて共同経営の確立